



# analytica Anacon India

## ファイナルレポート



Messe München  
International

第 5 回 国際分析機器・バイオテクノロジー・ラボテクノロジー・サービス  
専門見本市 / 国際会議

2009 年 9 月 29 日～10 月 1 日

インド・ハイデラバード / HITEX Exhibition Centre

2009 年 10 月 5 日

### Summary

- 出展社数は 10 カ国から 148 社
- 来場者数は 2,710 人
- 出展社は中国、チェコ、ドイツ、UK、インド、日本、シンガポール、韓国、スイス、アメリカから
- 来場者の多くは製薬・ファインケミストリ・バイオテクノロジー業界の意思決定者
- analytica-Anacon Conference も大盛況のうちに終了
  - 3 日間で 20 ものプレゼンテーション
  - およそ 150 人が参加

### Facts & Data

会 期	2009 年 9 月 29 日(火)～10 月 1 日(木) 午前 10 時～午後 6 時
会 場	インド・ハイデラバード / HITEX Exhibition Centre
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH) 国際見本市展示会サービス会社 (Internationaler Messe- und Ausstellungsdienst GmbH) India Analytical Instruments Association (IAIA)
規 模	約 4,200 m <sup>2</sup>
出 展 企 業	10ヶ国 148 社 (2007 年:14ヶ国 142 社)
来 場 者 総 数	2,710 人 (2007 年: 3,200 人)
専 門 分 野	光学、ラボ技術、バイオテクノロジー、研究&リサーチ
主 な 出 展 品	<u>分析技術・機器</u> :分析機器、顕微鏡検査、光学画像処理、クロマトグラフィー、分光測定機器、製薬品質管理 <u>検査・測定・品質管理</u> :産業品質管理、材質試験、材質評価、薬品産業品質管理 <u>ラボテクノロジー</u> :ラボ用機器・技術・設備、ラボ用データシステム、試薬・化学製品・消耗品 <u>ライフサイエンス・診断</u> :バイオアナリシス、バイオケミカル、バイオインフォマティクス、ライフサイエンス関連ラボ・バイオテクノロジー
出展日系企業 (現地法人・代理店出展含む)	(株)島津製作所、昭光通商(株)、昭和電工(株)、ダイセル化学工業(株)、日本電子(株)、(社)日本分析機器工業会、(株)ワイエムシィ 50音順
専 用 U R L	www.analytica-anacon.com (英語)

分析技術・機器、ラボテクノロジー、ライフサイエンスの全分野をカバーした「Analytica-Anacon 2009」が、9月29日から3日間に渡ってインド・ハイデラバードで開催され、10カ国148の出展社が分析機器、ラボテクノロジー、バイオテクノロジーに関連した最新の製品や技術を紹介した。会期中2,710人が来場し、最新の計測・分析機器や、革新的なバイオテクノロジー関連技術に注目した。またanalytica Anacon Conferenceも盛況で、テーマとしては「分析機器：より質の高い生活のための技術」といったものが注目され、がんの診断や新しい環境分析技術に関連するものが目立った。

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル常務取締役のクラウス・デイトリツヒは、「analytica Anacon Indiaへの関心が企業からも来場者からも徐々に高くなってきているのは、この見本市が、インド国内で情報とビジネスの最適なプラットフォームとして認識されているからだ。また、ここ数年で企業や研究機関内で、分析機器やラボ機器の必要性が高まっていることも1つの要因と言える」と話している。また同氏は「今年は、新たにバイオテクノロジーのテーマにフォーカスした。GE Healthcare Lifesciences社、Spinco Biotech社、Thermo Fisher Scientific社など大手メーカーを含むバイオテクノロジー分野の出展社が増え、Conferenceでの発表も多かった」と続けた。ハイデラバードは製薬、ファイン・ケミストリ、バイオテクノロジー業界のインドにおける重要な都市であることから、開催地としては理想的と言える。

今年も国際色豊かな見本市となった。中国、チェコ、ドイツ、UK、インド、日本、シンガポール、韓国、スイス、アメリカから合計148(2007年は142社)の出展社が革新的技術や製品を紹介した。2,710人の専門来場者の多くが製薬、ファイン・ケミストリまたバイオテクノロジー業界の経営者またはラボ責任者だった。その他、研究機関や大学関係者の来場も目立った。

Spinco Biotech社のS. Thyagarajan氏は、「analytica Anacon Indiaは運営の面から言えば他の国際見本市に劣らないものに成長してきた。サイズはまだ小さいものの、インド経済が回復していることから、次回2011年にはより大きく成長すると確信している。今年はインドの祝日などが影響して来場者は例年に比べて少なかったものの、その多くは意思決定者で質は高かった」と話している。またShimadzu Analytical India Private Limited社 Deputy Managing Directorの今道仙也氏は、「今回の結果に満足している。予算の関係から今年はブースサイズを縮小したが、次回2011年には拡大することがすでに決まっている。ここ数回のanalytica Anacon Indiaは明らかにラボ機器におけるインドのベンチマークになっている」と評価している。

今年のanalytica Anacon Conferenceでは、3日間で20ものプレゼンテーションが行われた。VL Ramprasad氏 (Spinco Biotech)、Martin Hornshaw氏 (Thermo Fisher India and USA)、B. Buszewski氏 (University of Torun, Poland)そしてZhan Zhaoqi氏 (Shimadzu Asia Pacific)といった著名な科学者が、業界の最近から未来の発展や市場へアプローチするための新しいソリューションを紹介し、およそ150人が参加した。

**次回のanalytica Anacon Indiaは、2011年秋に開催される予定。**

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ [www.analytica-anacon.com](http://www.analytica-anacon.com) まで。

**資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：**

**メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部**

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町KSビル5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.com](http://www.messe-muenchen.com) (英語/ドイツ語)